

南米大陸自転車単独縦断行 企画書



阿部 雅龍

ご挨拶

私には幼少の頃から思い描いていた夢が有りました。

世界中を旅してみたい、写真や映像では無く、自分の目で足で体でこの地球を捉えてみたいという夢です。自分が成長し、様々な事を経験し、または学ぶ度にその思いは強くなって行きました。そして、日々の生活の中で、肉体的にも精神的にも鍛えて来ました。全ては自分の夢を叶える為に。

今現在、私は幼い頃からの夢である南米大陸を旅する計画の準備をしています。計画としては5月中旬より半年間以上、南米大陸を自転車で旅をさせて頂く予定です。

南米大陸でペダルをこぎ、各地を旅しながら様々な事を体験し、実感して来たいと思っております。例えば、我が身一つで旅をするという大変さ、厳しい自然環境、太古の技術による建築物、その土地に住む人々との出逢い、そして地球というスケールの大きさ。その中でも、私は特にその土地土地に住む人々との出逢いや生活をテーマとして旅をしたいと考えております。南米大陸に住み、伝統を守り続けている、自分たちと同じモンゴロイドの血をひくインディアン(ネイティブアメリカン)やその風土に根付き生活している人々、世界には様々な人々が居て、様々な生き方や考え方があるという事を感じて来たいと思っております。

また自分の旅を通して沢山の方々にもこの地球上には、こういう場所が有り、こういった人々が生活しているという事や自身の感じた事、思った事等の情報を発信していきます。そして知って頂く事で皆さんの何かのきっかけや好奇心を持つ事に繋がって頂く事が出来ればと幸いと思っております。現代の夢を追っていく世の中だからこそ、自分がひたすらに夢を追う事で皆の力や後押しになる事が出来ればと思っております。

自身でも旅の情報や現状を表現するツールとしてウェブサイト上のホームページを用い、定期的に現地の情報や写真、自分の手記等を公開して行く予定ですが、他にも様々な形で情報を発信できればと思っております。皆様ご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。

Believe Myself!! 阿部 雅龍

計画概要

- 旅の名称 南米大陸自転車単独縦断行

- 期間 1. 2005年5月15日～2005年11月中旬、もしくは
 2. 2005年5月15日～2006年1月中旬
 (注)期間2はアルゼンチンのウシュアイアまで旅を行う場合

- ルート 1. エクアドルのキト、赤道記念碑～チリのサンチアゴ
 2. エクアドルのキト、赤道記念碑～アルゼンチンの最南端の町ウシュアイア
 (注)ルート2は現地で旅を行い、その時の資金、体力、精神面を総合的に考慮し、決行するかを判断する。

- 移動手段 自転車:MTB(マウンテンバイク)を荷物が積める様に改良したもの。この自転車にテント、シュラフ(寝袋)、自炊道具等を積載し、旅を行う。

- 目的 1. 南米大陸を自転車で縦断する。
 2. 南米の自然環境を体感する。
 3. 南米各地に存在する遺跡等におもむき、古代の技術の素晴らしさ、スケールの大きさを実感する。
 4. 南米大陸に住む人々(インディアン等)に直接逢い、生活文化や生き方を体験する。
 5. 上記で感じた事、思った事等の情報をホームページ等を用い、発信する事で様々な世界環境や異文化に対する理解度や認識度を高め、少しでもこの情報を知って頂いた方に世界には様々な人々や文化、価値観が在るという事を感じて頂く。

ルート



ルート①エクアドルのキト、赤道記念碑～チリのサンチアゴ

ルート②エクアドルのキト、赤道記念碑～アルゼンチンの最南端の町ウシュアアイ

(注)ルート②は現地で旅を行い、その時の資金、体力、精神面を総合的に考慮し、決行するかを判断する

阿部雅龍プロフィール



- 1982年 秋田県秋田市に生まれる
- 1986年 父の死と家庭事情に伴い、南秋田郡昭和町に移住、自然と共に遊ぶ少年時代を送る
- 2002年春～2004年春
心身共に強くなることを願い、空手道場に下宿し、空手の稽古漬けの青春を送る
- 2003年春 2週間かけてヒッチハイクで日本を旅して回る。宿泊は野宿等の生活をし、大阪まで行き、戻って来る
- 2004年4月～10月
冒険家である大場満郎氏の主宰する「アースアカデミー大場満郎冒険学校」にてスタッフとして働かせていただく。大場満郎氏と共に生活し、働く事で様々な大切な事を学ぶ
また、この間自身の鍛えてきた肉体と精神を試すために、岩手県で行われた「釜石トライアスロン」に参加し、完走する
- 2004年11月
秋田に帰省。帰省後、直ぐに新潟の小千谷市に行き地震の被災地でボランティアをさせていただく
- 現在 南米大陸の旅のために、資金稼ぎやトレーニング、各国調査等の準備の最中